



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
コード番号 3143 URL <https://owill.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉井 健一 TEL 03 (5772) 4488
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	24,425	△0.5	765	△9.0	731	△7.0	549	7.7
2023年3月期第3四半期	24,546	12.6	841	9.6	786	0.5	510	△5.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 573百万円 (20.1%) 2023年3月期第3四半期 477百万円 (△7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	176.41	-
2023年3月期第3四半期	162.11	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	13,738	4,387	31.0	1,423.71
2023年3月期	11,445	4,164	35.4	1,286.55

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,256百万円 2023年3月期 4,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	47.00	47.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.4	1,000	6.1	1,000	14.3	670	15.4	212.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	3,150,000株	2023年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	160,329株	2023年3月期	304株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	3,117,679株	2023年3月期3Q	3,149,696株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴う人流の増加やインバウンド需要の回復等により、社会経済活動の正常化が一段と進んだことで、緩やかに回復しています。しかしながら、実質賃金の伸び悩み、エネルギー価格や原材料価格の高騰、米国との金利差拡大による円安相場の常態化等、景気の先行きにつきましては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、行動制限の緩和に伴う人出の回復により消費に持ち直しが見られるものの、原材料価格や物流費の上昇に加えて、消費者の節約志向の高まりを受け、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。新型コロナウイルスの5類感染症移行後、外食やレジャー施設における客数が回復したことで、製造販売事業のアイスクリームの販売は好調に推移しました。一方、卸売事業の主要カテゴリーである農産物及び加工品、乳及び乳製品の販売数量が減少したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,425,840千円（前年同期比0.5%減）となりました。また、原材料価格や物流費の上昇を受け、一部商品の値上げを行い売上総利益については横ばいとしたものの、人件費や販売に係る諸経費の増加により、営業利益は765,934千円（前年同期比9.0%減）、経常利益は731,530千円（前年同期比7.0%減）となりました。固定資産売却損を特別損失として計上した一方、投資有価証券売却益を特別利益として計上したことで、親会社株主に帰属する四半期純利益は549,984千円（前年同期比7.7%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

清涼飲料市場においては、新型コロナウイルスの5類感染症移行などを背景に人流が増加したものの、商品値上げによる買い控えの影響を受け、出荷数量は前年比ほぼ横ばいで推移しました。原材料価格や物流費の上昇を受け、飲料メーカー各社は一部商品を値上げして利益確保に取り組んでいるものの、円安や原材料価格の高騰などにより、今後の市場環境は不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、既存取引先へのサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。主力カテゴリーである糖類・香料などの食品副原料や飲料製品においては前年同期並みの販売数量で推移したものの、農産物及び加工品、乳及び乳製品の販売数量が減少したことにより、卸売事業の売上高は24,281,504千円（前年同期比0.9%減）となりました。

<製造販売事業>

安心・安全な商品の提供を第一に、美味しさと素材の良さにこだわったアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品の提供に努めてまいりました。新型コロナウイルスの5類感染症移行後、外食やレジャー施設における客数が回復し主要顧客先からの受注が回復したことに加えて、新規顧客の開拓が進んだことから、製造販売事業の売上高は721,862千円（前年同期比は40.1%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,347,402千円増加し、12,326,435千円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形、売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ53,956千円減少し、1,412,253千円となりました。主な要因は、投資有価証券の売却によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,293,445千円増加し、13,738,688千円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,894,998千円増加し、7,693,220千円となりました。主な要因は、買掛金及び1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ175,771千円増加し、1,657,985千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2,070,769千円増加し、9,351,206千円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ222,675千円増加し、4,387,482千円となりました。主な要因は、自己株式の取得による減少及び利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,793,749	2,134,838
受取手形	80,330	149,528
売掛金	4,488,316	6,097,362
商品及び製品	2,163,607	2,391,841
未着商品	594,266	850,754
原材料及び貯蔵品	95,561	66,086
未収入金	197,209	162,444
その他	610,550	519,102
貸倒引当金	△44,558	△45,524
流動資産合計	9,979,033	12,326,435
固定資産		
有形固定資産	478,352	539,912
無形固定資産	3,318	47,827
投資その他の資産	984,539	824,513
固定資産合計	1,466,210	1,412,253
資産合計	11,445,243	13,738,688
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,521,216	6,234,235
1年内返済予定の長期借入金	776,530	885,159
未払金	159,156	240,564
未払法人税等	142,669	100,415
賞与引当金	37,754	27,600
その他	160,896	205,246
流動負債合計	5,798,222	7,693,220
固定負債		
長期借入金	1,361,212	1,545,245
資産除去債務	10,756	9,860
その他	110,245	102,880
固定負債合計	1,482,213	1,657,985
負債合計	7,280,436	9,351,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	3,145,022	3,546,971
自己株式	△259	△203,332
株主資本合計	3,800,625	3,999,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,066	156,948
繰延ヘッジ損益	△6,619	△1,853
為替換算調整勘定	77,180	101,836
その他の包括利益累計額合計	251,626	256,931
非支配株主持分	112,554	131,048
純資産合計	4,164,806	4,387,482
負債純資産合計	11,445,243	13,738,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	24,546,528	24,425,840
売上原価	22,032,527	21,907,161
売上総利益	2,514,001	2,518,678
販売費及び一般管理費	1,672,222	1,752,743
営業利益	841,778	765,934
営業外収益		
受取利息	525	413
受取配当金	7,754	8,606
受取手数料	4,745	4,745
受取補償金	765	4,031
補助金収入	3,079	12,500
その他	848	1,761
営業外収益合計	17,718	32,058
営業外費用		
支払利息	6,686	8,561
為替差損	66,503	55,915
その他	125	1,985
営業外費用合計	73,315	66,462
経常利益	786,181	731,530
特別利益		
固定資産売却益	—	9,977
投資有価証券売却益	—	91,924
特別利益合計	—	101,901
特別損失		
固定資産売却損	—	6,133
特別損失合計	—	6,133
税金等調整前四半期純利益	786,181	827,299
法人税、住民税及び事業税	236,094	236,926
法人税等調整額	17,667	29,093
法人税等合計	253,762	266,019
四半期純利益	532,418	561,279
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,833	11,295
親会社株主に帰属する四半期純利益	510,585	549,984

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	532,418	561,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,241	△24,117
繰延ヘッジ損益	△40,794	4,766
為替換算調整勘定	31,283	31,855
その他の包括利益合計	△54,752	12,504
四半期包括利益	477,665	573,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	448,762	555,289
非支配株主に係る四半期包括利益	28,903	18,494

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年11月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式160,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が203,072千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が203,332千円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,257,366	289,161	24,546,528	—	24,546,528
セグメント間の内部 売上高又は振替高	251,045	226,216	477,261	△477,261	—
計	24,508,412	515,377	25,023,789	△477,261	24,546,528
セグメント利益又は 損失(△)	874,614	△29,794	844,819	△3,041	841,778

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,041千円は、セグメント間取引消去△3,041千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,097,312	328,527	24,425,840	—	24,425,840
セグメント間の内部 売上高又は振替高	184,192	393,334	577,527	△577,527	—
計	24,281,504	721,862	25,003,367	△577,527	24,425,840
セグメント利益	761,100	11,074	772,174	△6,239	765,934

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,239千円は、セグメント間取引消去△6,239千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。